

新型コロナウイルス感染症対策本部（第28回）

議事概要

1 日時

令和2年4月11日（土）16時04分～16時18分

2 場所

官邸4階大会議室

3 出席者

内閣総理大臣 安倍 晋三

総務大臣 高市 早苗

厚生労働大臣 加藤 勝信

農林水産大臣 江藤 拓

国土交通大臣 赤羽 一嘉

防衛大臣 河野 太郎

内閣官房長官 菅 義偉

復興大臣 田中 和徳

国家公安委員会委員長 武田 良太

内閣府特命担当大臣 衛藤 晟一

内閣府特命担当大臣 西村 康稔

内閣府特命担当大臣 北村 誠吾

内閣府副大臣 平 将明

内閣府副大臣 宮下 一郎

法務副大臣 義家 弘介

外務副大臣 若宮 健嗣

財務副大臣 藤川 政人

文部科学副大臣 亀岡 偉民

経済産業副大臣 松本 洋平

環境副大臣 石原 宏高

内閣官房副長官 岡田 直樹

内閣官房副長官 杉田 和博

内閣総理大臣補佐官 和泉 洋人

内閣総理大臣補佐官 長谷川 榮一

内閣危機管理監 沖田 芳樹

国家安全保障局長 北村 滋

内閣官房副長官補 古谷 一之

内閣審議官（内閣官房副長官補代理） 濱野 幸一

内閣審議官（内閣情報官代理） 櫻澤 健一

4 議事概要

【厚生労働大臣】

昨日の時点では、感染者数は658名増加の6,005名となっております。なお、特定都道府県の増加数は514名と、全体の78%を占めています。また、東京では、昨日10日までに3日連続で最も多い感染者が確認されるなど、都市部を中心に、感染者の急増が続いております。また、リンクの追えていない孤発例も60%を超える状況がここ数日続いております。

また、医療提供体制については、軽症者の宿泊施設での療養を進める取組やその準備が、11都府県において進められ、すでに東京都においては患者の移送が行われているところです。引き続き、感染者数が増加をする中で、医療提供体制をしっかりと構築していくためにも、こうした取組を含め、重症者の対応をしっかりとできるような医療提供体制に向けて、都道府県と連携しながら進めていきたいと考えております。

【西村国務大臣】

資料2-2の基本的対処方針の変更案についてご説明申し上げます。いわゆる「夜の街クラスター」と呼ばれる、繁華街の接客を伴う飲食店等において発生しますクラスターの対策が、引き続き急務になっております。4月7日に変更しました基本的対処方針では、緊急事態宣言の対象区域となった都道府県知事は、外出自粛等の要請にあたって、現にクラスターが多数発生している繁華街の接客を伴う飲食店等については、強く自粛を促すこととされています。しかしながら、こうした飲食店等の特性を踏まえると、夜の街クラスター対策を徹底するためには、緊急事態措置の実施区域以外の道府県においても、特措法に基づき、知事から住民に対して、夜の街への外出自粛を強く要請してもらうことが必要となってきております。具体的には、この資料のとおり、基本的対処方針のまん延防止対策の部分に、「特定都道府県以外の都道府県は、法第24条第9項に基づき、繁華街の接客を伴う飲食店等への外出自粛について、強く促す。」という内容を追加したいと考えておりますのでよろしく願いいたします。決定されれば、私から各県知事にもこの旨徹底をお願いしたいと考えております。

【国家公安委員会委員長】

警察では、東京等の7都府県において、知事からの要請等を踏まえ、外出自粛要請に伴う繁華街でのトラブル防止のため、制服警察官によるパトロールを強化し、あわせて、状況に応じ、外出自粛要請が出されている旨の一般的な声掛けを行っております。その他の道府県においても、知事からの要請等があれば、同様の措置をとってまいります。

【内閣官房長官】

それでは、基本的対処方針の変更について、案のとおり対策本部として決定してよろしいでしょうか。

[異議なしとの声]

【厚生労働大臣】

医療提供体制を構築していくためにも、医療従事者を感染から守るマスク、ガウン、フェイスシールドなどの個人防護具を確保することが大事であります。特に、世界中で感染が広がっており、需要がますます増加する中、医療現場の物資不足は深刻さを増しているところであります。これを早急に解消するため、輸入の増大、国内生産、更には異業種の参入の拡大などによる供給量の拡大に加えて、医療機関における需要も適正化・効率化していく必要があります。

まず、感染リスクの高い診療場面で用いるN95 マスク、それに準ずる機能をもつ「KN95」も含めて、現状の供給量 55 万枚に加えて、4 月末までに約 650 万枚を確保すべく、今努力をしているところです。更にN95 マスクは再利用が可能ということでもあります。滅菌器を活用して効率的な使用も医療現場にお願いしてまいります。また、アイソレーションガウンについては、需要 470 万枚に対して、170 万枚の供給量しかなく、輸入拡大でも追加で 180 万しか確保できず、更に不足する分を医療用の長袖エプロン等々を調達して、それに充てていくこととしております。フェイスシールドは、需要 160 万に対して供給は 70 万枚ですが、4 月中に 110 万枚の確保の見込みがございます。これについても、洗浄や消毒で再利用を可能にさせていただくとともに、国内生産の拡大等、引き続き安定供給の確保を図っていきたいと考えております。

この物資の確保においては、経済産業省にも大変なお力を頂いておりますことに合わせて感謝申し上げ、引き続きのご協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。

【経済産業副大臣】

新型コロナウイルスの感染拡大による需要の急増に伴い、マスクや医療用ガウンなど医療・衛生用品の需給ひっ迫が続いております。関係事業者に対しまして、厚生労働省とも連携し、最大限の増産や輸入の強化をお願いしているところです。加えて、別の事業を行っていた企業に対しても、新たにこれらの製品の製造や加工に参入・協力ができないかの検討をお願いしております。こうした中で、4 月 7 日には、梶山大臣が、加藤大臣とともに、経団連及び経済同友会の両会長に産業界からの幅広い協力を要請したところであります。経済産業省としても、引き続き、需給の状況を注意深く確認するとともに、不足する製品の生産設備の導入補助を拡充するなど、必要な対策をスピード感を持って講じてまいります。

【総務大臣】

医療用ガウンについては、地方公共団体から総務省に対しても多くの要望をいただいております。西村大臣の要請も受けまして、総務省から、東京消防庁に要請を行い、医療用ガウンの代用として、救急隊が用いる感染防止衣について、3 万着の提供を受けることになりました。この 3 万着分につきましては、令和元年度予備費で消防庁から東京都に補填をいたします。

今後、関係省と連携し、必要とする医療機関に速やかに提供できるよう調整してまいります。

【内閣総理大臣】

緊急事態宣言の発出を受けて、国民の皆様には、最低7割、極力8割、人と人との接触を削減するとの目標の下、在宅での勤務を始め、不要不急の外出を自粛いただくなど、大変なご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。この緊急事態を1か月で終えるためには、最低7割、極力8割の接触削減を何としても実現しなければなりません。そのためには、もう一段の国民の皆様のご協力をいただくことが不可欠であります。緊急事態宣言の区域内においては、原則、全ての従業員による自宅勤務などを実施している企業が多くあるとの報告を受けています。他方、7割から8割の削減目標との関係では、いまだ通勤者の減少が十分でない面もあることから、オフィスでの仕事は原則として、自宅で行えるようにする。どうしても出勤が必要な場合でも、出勤者を最低7割は減らす。関係省庁は、来週に向けて強い危機感を持って、中小・小規模事業者の皆さんも含む、全ての事業者の皆さんにこの要請を徹底してください。

また、夜の繁華街においては、既に多くの感染が確認されており、緊急事態宣言が発出された地域のみならず、全国的な広がりを見せています。7都府県において、強い自粛要請を行うことで、結果として、他の道府県への人の流れが生まれるような事態は、あってはなりません。そのため、密閉、密集、密接、3つの密がより濃厚な形で重なる、バー、ナイトクラブ、カラオケ、ライブハウスはもとより、繁華街の接客を伴う飲食店等については、緊急事態宣言が出ている地域か否かを問わず、全国全ての道府県において、その出入りを控えていただくよう、特措法第24条9項に基づいて、要請すべき旨を、基本的対処方針に新たに追加いたしました。

緊急事態宣言が発出された地域では、医療提供体制がひっ迫しています。政府として、軽症者や無症状感染者向けの宿泊施設の確保に加え、自衛隊を派遣して、宿泊施設への移送の協力、施設内のゾーニングや関係者の皆さんの能力構築支援なども行っていますが、医療現場の負担を軽減するため、都府県と連携して、こうした取組を一層加速してください。

さらに、現場で必要となる、医療物資の不足状況を緩和するため、プッシュ型で提供していきます。サージカルマスクは、来週までに合計で4,500万枚を全国の医療機関に配布しますが、7都府県の医療機関向けに、追加で1,000万枚を配布します。医療用ガウン及びフェイスシールドについては、それぞれ100万着を、7都府県それぞれのひっ迫状況に応じて、直ちに配布してください。N95マスク及び、KN95マスクについては、現在輸入が激減し、大変厳しい状況にあります。来週中に、7万枚を届けるとともに、今月中に70万枚を配布します。また、7都府県以外の地域においても、医療現場の状況にしっかりと目配りし、医療防護具の提供にできる限りの努力を尽くしてください。感染リスクと背中合わせの厳しい状況の下で、今この瞬間も、医療従事者の皆さんは命を守るために全力を尽くしていただいております。改めて、

心から感謝申し上げたいと思います。そして、医療現場を守るために、全国的に不足状況が続いている医療物資について、科学的かつ効率的な使い方が可能となるような各種支援に加え、引き続き、あらゆる手を尽くして、国内の生産体制の増強を進めていきます。これまでも、設備投資への大胆な補助金などにより、異業種を含めた国内メーカーに積極的な生産拡大を促してまいりましたが、今般の経済対策なども活用して、政府一丸となって取組を更に強化してください。

院内感染のリスクを軽減する観点から、来週から初診を含めて、電話やオンラインでの診療を可能とします。今後とも、医療現場の負担軽減に向けて、各省庁はできる限りの取組を進めてください。

この緊急事態を乗り越えるため、国民の皆様の行動変容、行動を変えていただくと共に、政府と都道府県が連携した取組の強化が求められています。各位にあっては、現場の声・情報を幅広く吸い上げるとともに、対策を柔軟かつ迅速に打って行ってください。

以 上